

2021年4月30日

「グループサステナビリティ宣言」の制定および 「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言」への賛同について

西日本フィナンシャルホールディングス（社長 谷川 浩道）は、当社グループの ESG/SDGs への取組強化の一環として、「グループサステナビリティ宣言」の制定および「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言※」への賛同表明を行いましたので、お知らせします。

※TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）提言

金融安定理事会（FSB）により設置された TCFD が 2017 年 6 月に公表した提言。企業等に対し、気候変動の「リスク」と「機会」がもたらす影響等について、投資家をはじめとするステークホルダーに開示することを推奨している。

記

1. 「グループサステナビリティ宣言」の制定について

当社グループはこれまで、「地域の発展なくして西日本 FH グループの発展なし」との信念のもと、創業支援や環境関連融資等の本業を通じた地域課題の解決に加え、さまざまな地域貢献活動にも積極的に取り組んできました。中期経営計画「飛翔 2023～地域の元気を創造する～」においても「SDGs 重点項目」を掲げ、持続可能な社会の実現への貢献を経営戦略上の重要事項と位置付け推進しています。

この度、当社グループの ESG/SDGs への取組方針を「グループサステナビリティ宣言」として明文化しました。当社グループは今後一層、ESG/SDGs への取組みの強化を図ってまいります。

グループサステナビリティ宣言

私たち西日本フィナンシャルホールディングスグループは、グループ経営理念に基づき、地域の発展とグループ企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2. 「TCFD 提言」への賛同について

当社グループはこれまで、2009 年に子会社の西日本シティ銀行に専門部署「環境室」（現在は当社「SDGs 推進室」へ発展的に改組）を設置し、環境に配慮した店舗への建替えや「環境私募債」の引受け等、さまざまな環境関連施策に積極的に取り組んできました。

近年、世界各国で異常気象により甚大な被害が頻発しています。地元九州・福岡においても 2017 年 7 月九州北部豪雨、2020 年 7 月豪雨と大きな災害が発生しており、気候変動への対策は地域にとって大きな課題となっています。当社グループでは、「SDGs 重点項目」の一つに「13. 気候変動に具体的な対策を」を掲げ、注力分野と位置付けています。

当社グループは、TCFD 提言に賛同し、同提言に沿った態勢整備や情報開示と併せて、お客さまの気候変動問題への取組みを支援していきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先
経営企画部 SDGs 推進室 森田・楠田 TEL 092-461-1852

(参考)

グループ経営理念

私たちは、高い志と誇りを持って時代の変化に適応し、お客さまとともに成長する総合力 No.1 の地域金融グループを目指します。

グループサステナビリティ宣言

私たち西日本フィナンシャルホールディングスグループは、グループ経営理念に基づき、地域の発展とグループ企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

西日本 FH グループ「SDGs 重点項目」



※ 当社グループの ESG/SDGs への主な取り組み内容は、別添資料「西日本 FH グループの ESG/SDGs への取り組み」をご参照ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs)

2015 年 9 月に国連サミットで採択された国際目標。「だれ一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030 年を年限とする 17 のゴール、169 のターゲットで構成。

西日本FHグループの ESG／SDGsへの取組み

株式会社西日本フィナンシャルホールディングス

ESG/SDGsへの取組み

- ◆ 当社グループは、かねてより、創業支援や環境関連融資等の本業ビジネスを通じて、地域の産業と雇用の創出や循環型社会の形成などの地域が抱える課題の解決に積極的に取り組んでいます。
- ◆ 地域金融グループならではのESG（環境・社会・ガバナンス）への取組みを推進し、SDGs達成へ向けて貢献してまいります。

Environment（環境）・Social（社会）・Governance（ガバナンス）

SDGs

ESG要素を考慮した事業性評価の導入

- 2019年10月、環境省が公募事業「地域におけるESG金融促進事業」※の支援先機関に西日本シティ銀行を選定。

※地域金融機関における「ESG地域金融」の促進、地方自治体との連携による「地域のグリーンプロジェクト発掘」「ESG要素を考慮した事業性評価」の構築支援を行う。併せて、地域課題の抽出や課題解決のための事業化支援を行う。

案件：豪雨災害対策事業に対するESG要素を考慮した事業性評価の導入

目的：近年続発する豪雨災害へのレジリエンスの向上は、全国各地における重要な課題。災害対策や環境保全を目的とする事業を評価・支援することでこうした課題の解決に資する。

上記の課題解決を通じて得た知見・ノウハウを活用してESG要素を考慮した事業性評価モデルを構築し、お取引先企業への支援のレベルアップを図る。

- 2020年4月、上記支援を通じて得た知見・ノウハウを活用し、お客さまのESG/SDGsへの取組みを評価する事業性評価モデルを導入。

再生可能エネルギー発電事業への融資

- 温室効果ガスの削減につながる太陽光発電、風力発電、バイオマス発電等の再生可能エネルギー発電事業への融資を実施。

ESG債への投資

- 社会課題の解決に資する投資の一環として、独立行政法人日本学生支援機構が発行するソーシャルボンド「日本学生支援債券」、米州開発銀行が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」等への投資を実施。

ESG関連の投資信託の取扱い

- お客さまにESG投資の機会を提供するため、ESG関連の投資信託を取扱い開始。今後も商品ラインアップを拡充予定。

融資残高

552億円

(2021年3月末現在)

ESG債投資実績累計

144億円

(2021年3月末現在)

ESG関連投資信託販売実績
累計（取扱開始後11か月間）

55億円

(2021年3月末現在)



Environment (環境) ・ Social (社会) ・ Governance (ガバナンス)

SDGs

引受実績累計 (全体)
266件 258.6億円
 (2021年3月末現在)

「SDGs私募債」

- お取引先企業のSDGsへの取り組みを社債の引受けを通じて支援。
- 本私募債の発行企業に対し、第三者機関による調査を踏まえ、西日本シティ銀行が「SDGs 認定証」を発行。

<p>「CSR私募債」 〔2006年9月第1号案件引受〕</p>	<p>国・自治体等からCSR活動※に関して認証等を受けた企業を対象とする社債。 【引受実績累計 10件 20.5億円 (2021年3月末現在)】 ※コンプライアンス、地域貢献等</p>	
<p>「環境私募債」 〔2008年2月第1号案件引受〕</p>	<p>国・自治体等から環境に配慮した経営について認証等を受けた企業を対象とする社債。 【引受実績累計 45件 51.0億円 (2021年3月末現在)】</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 2020年2月、西日本シティ銀行は、太陽光発電事業を全国展開している(株)ウエストホールディングスが発行した「グリーンボンド (5年債、2億円、外部評価機関：(株)日本格付研究所)」を全額引受け。銀行保証付私募債の仕組みを活用した「グリーンボンド」の引受けは全国地銀初の取り組み。 </div>	
<p>地域応援私募債「つなぐココロ」 〔2017年3月第1号案件引受〕</p>	<p>地域の学校等へ物品 (図書・スポーツ用品等) を寄贈する機能を付した社債。 【引受実績累計 129件 119.7億円 (2021年3月末現在)】</p>	
<p>世界遺産応援私募債「九州ヒストリー」 〔2018年10月第1号案件引受〕</p>	<p>九州の世界遺産群の管理団体 (自治体等) へ寄付する機能を付した社債。 【引受実績累計 2件 2.0億円 (2021年3月末現在)】</p>	
<p>子ども食堂応援私募債「希望の環」 〔2019年10月第1号案件引受〕</p>	<p>子ども食堂運営団体へ寄付する機能を付した社債。 【引受実績累計 65件 48.7億円 (2021年3月末現在)】</p>	
<p>新型コロナ対策支援私募債「感謝のココロ」 〔2020年8月第1号案件引受〕</p> 	<p>新型コロナウイルス感染症対策関連基金等へ寄付する機能を付した社債。 【引受実績累計 15件 16.7億円 (2021年3月末現在)】</p> <div style="text-align: center;">  </div> 	

ESG金融

寄付型



「SDGs重点項目」の設定〔2020年4月〕

- 中期経営計画「飛翔2023～地域の元気を創造する～」において、当社グループが目指す姿との関連性が高いSDGsの7つのゴールを「SDGs重点項目」として設定。



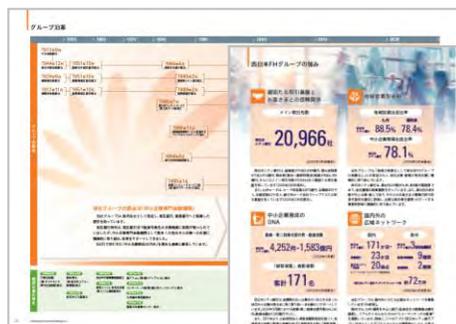
「SDGs推進室」の新設〔2020年4月〕

- SDGsへの取組みを当社グループで一元的に推進するための専門部署「SDGs推進室」を新設。



統合報告書の発行〔2020年7月〕

- 投資家をはじめとするさまざまなステークホルダーに、当社グループの持続的成長や価値創造に向けた取組み等をご紹介する「統合報告書2020（ディスクロージャー誌）」を当社グループとして初めて発行（当社ホームページに掲載）。



グループ沿革

西日本FHグループの強み



トップメッセージ



ESG/SDGsへの取組み

Environment (環境) ・ Social (社会)

SDGs

環境配慮



地域の環境美化活動への積極的な取組み

- 福岡市が展開する「一人一花」運動※に参画。
 - 博多駅周辺の清掃ボランティア活動「地域のクリーンデー」に参画。
- ※市民・行政・一人ひとりが花と緑を育て、公園や歩道、会社、自宅など福岡市のあらゆる場所を花と緑でいっぱいにする取組み（福岡市HPより）。



環境に配慮した店舗

- 太陽光発電・雨水利用・LED照明・省エネ空調等のエコ設備を備えた「環境配慮型店舗」に建替え（2021年3月末までに26店舗）。

地域の産業・雇用の創出



創業支援

- 当社グループの原点は中小企業専門金融機関。脈々と継承してきた「中小企業育成のDNA」を発揮し、創業間もないお客さまへのきめ細かなサポートにより、地域の産業と雇用の創出に積極的に貢献。



ファンドによる経営支援

- 創業・新規事業支援、成長支援、事業承継支援、6次化産業支援、シーズ産業化支援等、企業のライフステージに応じた各種ファンドに出資。これらのファンドを活用しながら、地域企業の成長を支援。

地域開発への参画



西日本シティ銀行保有ビルの連鎖的再開発

- 福岡市が推進する博多駅周辺の再開発プロジェクト「博多コネクティッド」推進の起爆剤となるべく、老朽化した本店本館ビル、本店別館ビル及び事務本部ビルを連鎖的に再開発することを2019年12月に決定。
- 新本店ビルは、低炭素化技術を採用するなど、「人」「環境」「社会」のバランスに配慮したスマートビルとすることを目指す。また、低層階に商業施設や広場を設けるなど「にぎわいの創出」や「回遊性の向上」を図るとともに、上層階にはハイグレードオフィスを併設し企業誘致につなげることで地域の活性化を図る。

人財育成



専門人財・戦略人財の育成

- 高度な専門知識を持ち、あるいは高い生産性を発揮できる人財を、将来を担う中核人財として本部トレーニー制度等（右図）により計画的に育成。
- 内部人財の育成に加え、即戦力となる人財の中途採用にも注力。

- 本部トレーニー制度
- 早期選抜・早期育成
- 外部出向・派遣
- ビジネススクールへの派遣
- 行員スキルのデータベース化 etc.



Social (社会)

SDGs

少子高齢化への対応



「SDGs私募債（寄付型）」【再掲】 P2参照

- 地域応援私募債「つなぐココロ」（寄付先：学校等）、子ども食堂応援私募債「希望の環」（寄付先：子ども食堂運営団体）の取扱いを通じて、本私募債の発行企業とともに、地域の子どもの育成環境の充実に寄与。



金融リテラシー教育の実施

- 次代を担う若い世代の金融知識を深めるための金融リテラシー教育を継続的に実施。
 〈今年度の主な実施内容〉
 - ・ 2020年8月、小学生を対象にお金の役割や価値等について学べるセミナー「お金のがっこう」を開催（2007年より累計16回開催）。
 - ・ 2020年9月から12月、九州産業大学の講義（経済学部「銀行論」、商学部「金融機関論」）に当社グループの役職員を講師として派遣。
 - ・ 2020年10月から12月、西南学院大学の学生を対象に開催された「実践仕事塾～金融スペシャリスト育成講座～」に当社グループの役職員を講師として派遣（2008年より累計13回開催）。



相続へのソリューションの強化

- 2020年8月、将来の認知症や高度障害等への備えとして「NCBシニアサポート信託」を取扱い開始し、商品ラインアップ（右図）を拡充。

- NCB遺言信託
- NCB遺産整理業務
- NCB遺言代用信託
- NCB暦年贈与型信託
- NCBシニアサポート信託（NEW）

地域貢献



地域への多種多様な貢献活動

- 経済・金融情報提供…久保田勇夫会長による新春経済講演会「経済・金融の見通し～世界、日本、そして九州～」
- 芸術…「NCB音楽祭」、「日本の神様と舞い踊ろう～地域に根付く神楽と神舞～」、「福岡ルネッサンスNCBプロムナードコンサート」、「アジアフォーカス福岡国際映画祭」（協賛）等
- 文化・地域支援…「博多に強くなろう 北九州に強くなろう 100の物語」（上・下巻）の発刊、新ふるさと発見誌「九州流」の発刊、「経営者賞」「アジア貢献賞」「アジアKids大賞」の授与、ディズニーミュージカル「ライオンキング」へ中学生1万人ご招待（共催：劇団四季）等
- TV番組提供…「まちが★スキー」（FBS福岡放送、NIB長崎国際テレビ）、「志、情熱企業」（RKB毎日放送、NBC長崎放送）、「発見！九州スピリット」（KBC九州朝日放送）、「ミライへの1minute」（TNCテレビ西日本、KTNテレビ長崎）



Social (社会) ・ Governance (ガバナンス)

SDGs

ダイバーシティ&インクルージョン



「女性リーダーの会」

- 地元企業の女性経営者・リーダーを対象に異業種交流・情報交換の場を提供。これまでに4回開催（第4回2019年11月開催108名参加、第5回2020年12月開催94名参加）。



「NCB女性塾」

- 女性職員のネットワーク形成の場。所属部署や担当業務が異なる塾生同士によるグループワークを通じて、キャリア開発やワークライフバランスの実現を促す機会を提供。



女性の管理職登用

(2021年3月末現在)

	取締役	執行役員	本部部長	支店長クラス	その他管理職
西日本FH	(社外) 1	-	-	-	-
西日本シティ銀行	-	3	1	6	151
長崎銀行	-	-	2	4	18

「NC女性リーダーの会」



西日本シティ銀行は、「均等・両立推進企業表彰 福岡労働局長優良賞」（2009年10月、厚生労働省）、「福岡県子育て応援宣言企業・事業所知事表彰」（2015年1月、福岡県）を受賞。長崎銀行も、「均等・両立推進企業表彰 長崎労働局長優良賞」（2015年10月、厚生労働省）を受賞。

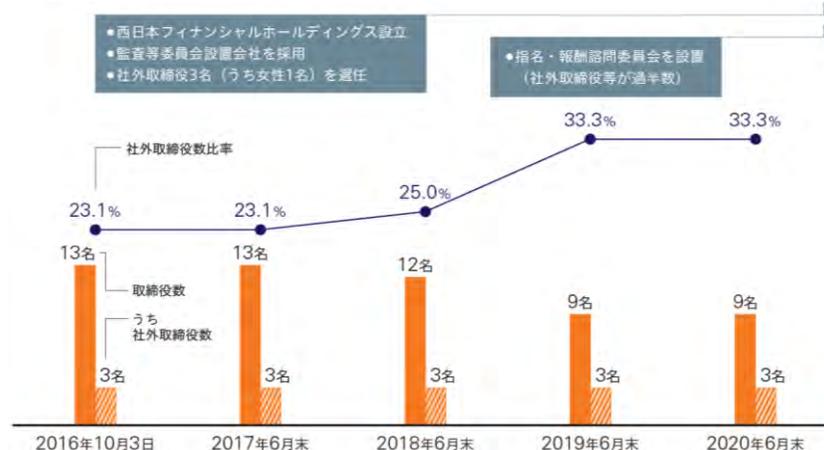
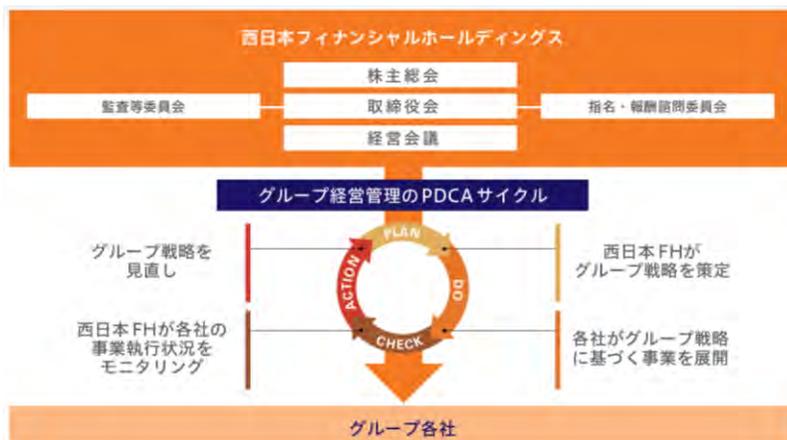


グループ経営管理のPDCAサイクル

- 西日本FH（持株会社）が経営管理に特化し、グループ各社が事業執行に専念することによりグループ経営管理を高度化。

指名・報酬諮問委員会

- 経営陣幹部の選解任や報酬等の決定については、委員の過半数を社外取締役等で構成する「指名・報酬諮問委員会」の答申を参酌。



コーポレート・ガバナンス